

平旧城跡周辺 防災まちづくり活動ニュース

平成 28 年 4 月発行 いわき市 危機管理課

地区の防災に関する現状を点検したハザードマップ案が完成！ (第5回防災まちづくりワークショップ)

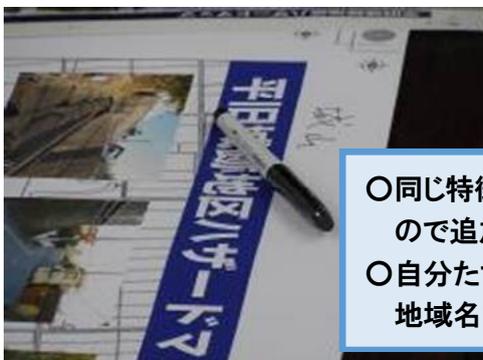
平成 27 年 12 月 18 日 (木) 午後 7 時から、平 15 区・24 区・25 区・52 区の方々を中心とするメンバーで「第 4 回平旧城跡周辺地区防災まちづくりワークショップ」として、まちの防災情報を点検しました。

今回は、15 名 (地区住民 8 名、福島工業高等専門学校の教員 1 名、平消防署 1 名、ほかに市職員 (営繕・危機管理の各所属) 4 名・コンサルタント 4 名) が参加しました。(「防災まちづくりワークショップ」と当日のプログラムの詳細は、ウラ面をご覧ください。)

2 グループに分かれて案を確認しました。【ウラ面も参照下さい。】



- 地区の住民に知っておいてもらいたい場所を追加してほしい
- 非常持ち出し袋の中身は、災害時の知恵として様々掲載してほしい 等々



- 同じ特徴の箇所はここにもあるので追加してほしい
- 自分たちにとってわかりやすい地域名を記載したい 等々



※参加された方々 (当日参加者受付名簿順): 鈴木政康さん、千葉壽茂さん・敏子さん、櫻田憲央さん、木澤光一さん、飯島正敏さん、中林則際さん、霜田宜久さん、佐川康宏さん

※参加者の総意により掲載

★ ハザードマップ案づくり(第5回ワークショップ)の内容 ★

- これまでの皆さんの検討やまち歩きの結果をまとめた「ハザードマップ(案)」を確認しました。
 - 表面は、「地域の防災情報」として追加掲載すべき事項等を確認しました。
 - 裏面は、「いざというときに備えて知っておいてほしいこと」として、震災の際の経験を踏まえて、非常持ち出し袋のアイデア等について検討しました。
 - 「ハザードマップ」を活用しながら今後の活動計画を検討しました。
- ※福島工業高等専門学校の前田先生より、昭和56年当時の住宅地図を用意いただき、旧耐震基準で建築された建物の状況について情報提供いただきました。
- ★皆さんがまとめたハザードマップ案(裏)面をご覧ください。
ハザードマップを活用して、地区の防災力の向上を目指します。
【ハザードマップは、説明会・地区への配布を予定しています】



防災まちづくりワークショップに参加してみませんか

※「防災まちづくりワークショップ」は、地区の住民のみなさんの話し合いにより、ハザードマップや計画づくりを進めるものです。

※平成28年度は、地区の防災情報満載のハザードマップをもとに、災害に備えた訓練や、安全な避難のための対策・体制づくりなどを検討していきます。

これからでも参加できますので、関心のある方は是非参加してみませんか。

※平成28年度のスタートにあたり「住民発表会」を開催します。

【平成28年5月開催予定 ご興味のある方は下記の連絡先まで】

※平成28年4月以降も、地域の防災力向上に向けた課題への取り組みについて皆さんと話し合っていきます。

○いざというときに被害が少なくできるよう、日頃から何をすればよいのか？

○実際に災害が発生したら／発生が見込まれたら、どのように行動するのか？

○災害の発生後、どのように自分たちの暮らし・コミュニティを再建するのか？ など

◆防災まちづくり活動支援事業に関するお問合せは



いわき市行政経営部危機管理課：植野(うえの)、藁谷(わらがい)
(電話 22-7551(直通))